

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN VOL.16 OCTOBER 1997 EKUTEBIAN〉

10



まいあーと ■ トール・ペイント「シアの箱船」by 八木崇子

キク科

ヤクシソウ

撮影：宮城六郎 (A) 鈴木純子 (B) 天野延代 (C)

イネ科

ジュズダマ

撮影：宮城六郎

ヤクシソウは、日当たりの良い道端や空き地、荒地などにふつうに見られる2年草。

ヤクシソウの意味ありげな名の由来については、最初に薬師堂のそばで見つけられたからとか、薬用にされたからとか、葉が薬師如来の後背に似ているからとか、いろいろな説があるようだがはっきりしない。

この頃たんぼの畦道などでジュズダマに出会う。ジュズダマの実でこどもの頃に遊んだ記憶が残る人も多いはず。

ヤクシソウ



C



A

ジュズダマ



B

15年目の“カーデイガン”

大野さんちのお嬢さん ②

立川通りにも秋がやってきました。
彼女が大野サイクル(高松町3丁目)の店頭にはじめて15回目の秋。
大野家の看板娘は今日も元氣にお役をつとめています。
本誌3月号では冬から春にかけての装いを見せてもらいましたが、
今回は秋に向けてのコレクション。
「女の子だから可愛くしないとね」。
おばあちゃんとお母さんに着せかえてもらう姿もなかなか堂に入ったもの。
自分が立川通りに季節を知らせる存在だということに、
彼女はとっくに気がついているようです。



Table of local businesses including ルミネ立川店, オリオン書房, ビューティータナカ, etc.



連載 四字熟語(五) 盲亀浮木... 現の可能性の稀な場合にも...



立井 九三歳? 歩くだけだつて... 真銅 日本からは90歳代の百メー...

初めてトラックを走ったのは五十を過ぎてからでした



真銅 霊彦さん 昭和第一学園高校教師

さる7月、南アフリカ共和国・ダーバンで行われた『第12回世界ベテランズ陸上競技選手権』において、昭和第一学園高校(栄町)講師の真銅霊彦さんが日本代表として出場...

えくてびあんの監 人があて、街があります。あなたがあて、立川があります...

真如苑 立川に育ちて六十一歳... 霊彦さんのお話...

立井 へえ、四〇〇メートルを一分切って走ってしまったんですか...

真銅 二〇〇メートル、四〇〇メートル、八〇〇メートルの三種目...

立井 ベテランズとマスターズとは、どう違うんですか?

多摩最大の店舗網 みなさまの暮らしやニーズに合わせて、幅広いサービスにつとめています...

Table of businesses: 自然食 ばれあな, 多摩画材, 新藤青果店, etc.

手づくりケーキの店 プティ・パニエ... 富士見町1-31-19/ ☎29-8364

真味百撰 口コミで広がったケーキ屋は、お客のささやかな希望を叶えてもらえる「ちいさな」ショップ

真銅 ええ、夢みたいな話でしたけど、さすがに、入院していません...

立井 へえ、何という不運かと天を恨んだでしょう...

実顔重ねて4周年 とつておきのありがとう

Table of businesses: 三田花店, TAPAS, Coffee Shop 遊香, etc.

月刊「えくてびあん」第159号 平成九年一月一日発行

真銅 走ること他に、「こにこ」三年なんですけど、理論的な面にも興味を湧いてきました...

立井 走る方は「定年」がなくていいですね、むしろ、自分の止めどは自分で決める...

真銅 ええ、うちが六四で定年です。ですから、私はいまは講師ということですが...

東風 一時ほどではないけれど、ジョギングに励んでいる人は多い...

私の立川原風景

第三回

千住喜八郎（高松町）



◆ 立川北口大通り ◆

私が立川に住みはじめた三十年前、この場所はまだ日本ではなくアメリカだった。個性を持ち得ない街の表情は創作の意欲を湧かすには程遠く、私のキャンバスに描かれるのは、毎年紀行するヨーロッパの風景ばかりであった。その表情が、ここ数年で変わってきていることに気がついた。この絵はある人に依頼され、北口の駅前をスケッチしたもの。立川に住む私が、初めて立川を描いたものだ。これからの私のキャンバスに、再び立川が描かれることはあるのだろうか。

（画家）